

毛呂山町版スーパーシティ構想

概要 ヒトのスマート化による「暮らし・産業の高度化」を通じた町民一人一人に寄り添う“Well-Being(幸福度)の向上” ～地域活性化とスマート技術による利便性の向上～

課題

- ・人口減少・高齢化の進行
- ・中心市街地の空洞化への懸念
- ・ポストコロナに順応した地域経済循環を創出できていないこと
- ・厳しい財政状況により行政主導型構造改革が困難なこと
- ・近年の大型災害頻度の増加に対する、町の特性に適応した有事の備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	・都市公園・空き家空き店舗を拠点とした地域の交流及び活性化	中期 (2025年)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園における地域の交流及び活性化拠点の形成 ・空き家・空き店舗の除却・利活用などにより、町内外から人々が集う地域活性化拠点を形成しポストコロナに順応した地域経済循環を生み出す ※都市公園、空き家・空き店舗の位置は別添地図参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい視点で取組む都市公園活性化(P-PFI等) ※公園活用、情報発信・広報など
スマート	ヒトのスマート化を通じた安全安心の持続可能なまちづくり	中期 (2025年)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業による遊休農地の活用及び町内産業の活性化(コンパクトとのリンク) ・自動運転技術やオンデマンド交通等の新たなモビリティ等による町内ネットワークの強化 ・3D都市モデルを活用しヒトやモノの動き(交通流量、交通危険箇所、災害発生時の避難行動データ等)を可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ・IT農業関連 ・自動運転技術やオンデマンド交通等の交通ネットワーク関連技術 ・都市OS ・3D都市モデル(各種センサー等を含む) ・その他地域課題解決に向けた新技術
レジリエント	災害被害に対するレジリエントの強化	長期 (2030年)	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーや蓄電池により日常利用と被災停電時非常利用可能な電力分散自律化 ・町内公共施設における太陽光と蓄電池の設置によるエネルギーセキュリティの向上 ・災害時におけるケーブルテレビを活用した情報発信による安全安心の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池 ・太陽光発電 ・再生可能エネルギー ・各種センサー等(水位、防犯カメラ等)

毛呂山町版スーパーシティ構想

毛呂山町全図

